

令和7年度 新規採択

団 体 営 土 地 改 良 事 業 計 画 概 要 書

土砂崩壊防止工事

要綱事業名

< 沖縄振興公共投資交付金（ため池等整備事業） >

沖縄県

地 区 名 ： 山城屋利原

所 在 地 ： 久米島町

事業主体： 久米島町

県営山城地区土地改良事業計画概要書

目 次

第1章	目 的	-----	1
第2章	地域の所在及び現況	-----	2
第3章	基 本 計 画	-----	5
第4章	工事又は管理の要領	-----	7
第5章	換地計画の要領	----- 該当なし -----	8
第6章	費 用 の 概 算	-----	9
第7章	効 用	-----	10
第8章	他の事業との関係	----- 該当なし -----	11
第9章	計画概要図	-----	11

第1章 目 的

1 目 的

本地区は、久米島町の東部に位置し、基幹作物であるサトウキビを主体に営農している優良な地区で、アーラ岳北東裾野の平地に広がる農地である。

農地背後には道路が位置し、片切、片盛の構造で、盛土部は間知ブロック積擁壁、切土部は12～15mの法面で建設され、道路下には山城送水管(φ250mm)が埋設されている。しかし、近年の豪雨等の影響により、道路の擁壁及び法面には、地すべり等による変状が確認され、このまま放置すると、畑地の埋没、道路の被災に伴う、山城ため池の農業用水を利用している農家への被害が懸念される。よって、災害を未然に防ぐ目的から、盛土部擁壁、切土部法面における地すべり対策を図り、道路を含めた土砂崩壊を未然に防止し、農業生産と農業経営の安定を図る。

2 地 積

(2-1)

(第1表)

事 業 名	現況地目	田	畑	原野	山林
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
ため池整備事業	久米島町	—	0.22	—	—
	計	—	0.22	—	—
	計				
合 計		—	0.22	—	—

(2-2)

(第1表)

事 業 名	現況地目	その他	計	備考
	市町村名	(ha)		
ため池等整備事業	久米島町	—	0.22	
	計	—	0.22	
	計			
合 計		—	0.22	

第2章 地域の所在及び現況

1 地域の所在

2 地 形

(2-1)

(第2表-1)

地 目	田 ・ 畑 ・ そ の 他 (ha)				
傾 斜 区 分	3° 以下	3° ～8°	8° ～15°	15° ～20°	20° 以上
面 積	0.2				-
比 率 %	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-

(2-2)

(第2表-1)

地 目	受 益 地 標 高 (m)		備 考
傾 斜 区 分	最高	最低	
面 積	5.4	1.6	
比 率 %			

3 土質及び土壌

(第2表-2)

土壌等区分名	表 層 色	面積 (ha)	比率 (%)	備 考
中川統	赤色土	59.0	100.0	赤色土に属し、土層の深い強粘質土壌である。一般に下層は緊密である。酸性～強酸性を呈する。石灰や苦土等塩基類に乏しい。
計		59.0	100.0	

4 気 象

(第2表-3)

観 測 所 名 : 久米島		かんがい期 1月 ~ 12月
観 測 期 間 1981年~2010年		
平 均 気 温		22.7 ℃
降 水 量	平 均	2,138.0 mm
	基 準 年	— mm
降 水 日 数	平 均	101 日
	基 準 年	— 日
最 多 風 向		西北西

5 水利状況

(1) 用水施設

山城ため池を水源とした畑地かんがい施設が整備されている。

(2) 排水施設

区画整理事業、農地保全事業により整備済み。

6 道路状況

区画整理事業、農地保全事業により整備済み。

7 営農状況

(第2表-4)

営 農 状 況 に 関 する 指 標							(資料根拠：第50次農林水産業統計年報)
農家 戸数		専 業	第1種兼業	第2種兼業	計	備 考	
	戸数	565	0	0	565		
経営 耕地 面積	比率	100%	0%	0%	100%		
		1.0ha未満	1.0～2.0ha	2.0～3.0ha	3.0ha以上	備 考	
主要 作物	戸数	219	191	73	67		
	比率	39.8%	34.7%	13.3%	12.2%		
主要 作物	名称	サトウキビ				備 考	
	面積	59ha					
農家 所得	農業所得	農外所得	計(農家所得)		備 考		
			0 千円／戸				

8 地域環境の概況

(1) 山城屋利原地区の環境概要

当該地区において特に配慮する項目はないが、山城ため池の下流には銭田川があり、緑が豊かな景観を形成している。

(2) 久米島町の環境概要

(第2表-5)

環境要素		項目	特記事項・概略説明		
自然環境	植物	貴重種	群 落	2 種	久米の五枝のマツ、仲里村真謝のチュラフクギ
	動物	哺乳類	貴重種	－ 種	－
		鳥類	貴重種	0 種	
		爬虫類	貴重種	1 種	キクザトサワヘビ
		両生類	貴重種	0 種	イボイモリ・オキナワイシカワガエル・ホルストガエル・ナミエガエル
		昆虫類	貴重種	1 種	クメジマボタル
		甲殻類	貴重種	－ 種	－
		淡水魚類	貴重種	－ 種	－
社会的環境	自然環境保全に関する規制	自然公園地域		・該当	(有) 無
		自然環境保全地域		該当なし	
		鳥獣特別保護地区		仲里村	
		風致地区		該当なし	
	文化財保護に関する指定	史 跡	・国指定	2 件	・県指定 4 件 ・市町村指定 0 件
		名勝	国指定		該当なし
			県指定		該当なし
			市町村指定		該当なし
		天然記念物	国指定		久米の五枝のマツ、久米島町奥武島の畳石
			県指定		宇根の大ソテツ、真謝のチュラフクギ
			市町村指定		該当なし
		埋蔵文化財包蔵地		73件あり	
	土地利用に関する規制	農業復興地域	4,670	ha	
		農用地区域	2,630	ha	
		森林地域	2,358	ha	
		地域森林計画対象民有林		ha	
		保安林	859	ha	
	水利用状況	河川区域(二級河川)		儀間川、謝名堂川	
		河川区域(準用河川)		該当なし	
		湧水・井戸		該当なし	

第3章 基本計画

1 一般計画

本地区は、久米島町の東部に位置し、基幹作物であるサトウキビを主体に営農している優良な地区で、アーラ岳北東裾野の平地に広がる農地である。

農地背後には道路が位置し、片切、片盛の構造で、盛土部は間知ブロック積擁壁、切土部は12～15mの法面で建設され、道路下には山城送水管(φ250mm)が埋設されている。しかし、近年の豪雨等の影響により、道路の擁壁及び法面には、地すべり等による変状が確認され、このまま放置すると、畑地の埋没、道路の被災に伴う、山城ため池の農業用水を利用している農家への被害が懸念される。よって、災害を未然に防ぐ目的から、盛土部擁壁、切土部法面における地すべり対策を図り、道路を含めた土砂崩壊を未然に防止し、農業生産と農業経営の安定を図る。

2 土地利用計画（事業別面積）（該当なし）

（単位：ha）（第3表-1）

工種	区分	田	畑	山林原野	その他			計	備考
	現況								
	計画								
	現況								
	計画								
計	現況								
	計画								

3 営農計画（該当なし）

(3-1)

（単位：ha）（第3表-2）

作物名				
作付面積				

(3-2)

（単位：ha）（第3表-2）

作物名				
作付面積				

(3-3)

（単位：ha）（第3表-2）

作物名			計	備考
作付面積			ha	

4 環境配慮等

工事期間中の赤土対策については、沖縄県条例「赤土等流出防止条例」に基づき、行う。

5 主要工事計画の概要

山留式擁壁工	165m
抑止杭工	65m
現場吹付法砕工	2,410m ²
石積工	520m ²

第4章 工事又は管理の要領

1 工事の内容

(第4表)

工 種	工 事 数 量	工 事 の 内 容
土砂崩壊防止工事	土工 山留式擁壁工 抑止杭工 現場吹付法砕工 石張工 排水路工	土工(切土、盛土) H型鋼(H-400) H型鋼(H-400) F200 控え400 排水路復旧(B1.2×H1.2)、路肩排水(PU300)

2 管理の要領

本事業により整備された施設は、久米島町が管理するものとする。

3 予定工期

令和7年度 ～ 令和11年度

第5章 換地計画の要領 (該当なし)

1 換地計画樹立の必要性 (該当なし)

2 換地計画樹立の基本方針 (該当なし)

(1) 従前の土地の地積の基準

(2) 農用地集団化の方法

(第5表-1)

区分 換地区	地帯別、グループ 別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置選択	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い

(3) 非農用地の換地方針

(第5表-2)

区分 換地区	種類	非農用地区域 の位置の概略	面積	換地の 手法	換地取得 予定者	その他

(4) 清算の方法

3 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積 (該当なし)

(第5表-3)

区分 用途	機能交換に係わる土地				一般国 公有地	合計
	国有地	都道府県有地	市町村有地	計		
計						

4 換地処分の特則に関する特則 (該当なし)

第6章 費用の概算

(第6表)

事 項	事 業 費	内 容
事 業 費	641,000 千円	土砂崩壊防止工事(土工、山留式擁壁工、抑止杭工、石積み工、排水路工) (令和6年度単価)
合 計	641,000 千円	
関連事業費	－ 千円	
総 合 計	641,000 千円	

第7章 効 用

(第7表-1)

事業名	効 果 区 分		年総効果(便益) 額 (千円)	年増加農業所 得額 (千円)	備 考
ため池総合整備事業	食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果			
		品質向上効果			
		営農経費節減効果			
		維持管理費節減効果			
		営農に係る走行経費節減効果			
	農業の接続的発展に関する効果	耕作放棄防止効果			
		災害防止効果(農業)	116,148	47,709	
		農業労働環境改善効果			
	農村の振興に関する効果	災害防止効果(一般資産)			
		地域用水効果			
		一般交通等経費節減効果			
		地籍確定効果			
		国土造成効果			
		非農用地等創設効果			
	多面的機能の発揮に関する効果	災害防止効果(公共施設)			
		水源かん養効果			
		景観・環境保全効果			
		都市・農村交流促進効果			
		その他効果(赤土等流出防止効果)			
	合 計		116,148	47,709	

(第7表-2)

区分		算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)		③=①+②	510,094 千円	
	当該事業による費用	①	524,107 千円	
	その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)	②	△ 14,013 千円	
年償還額		④	- 千円/年	
	うち機能向上分	④'	- 千円/年	
年総効果(便益) 額		⑤	116,148 千円	
現況年総農業所得額		⑥	47,709 千円	
年増加農業所得額		⑦	-	
評価期間(当該事業の工事期間+40年)			45 年	
割引率			0.04	
総便益額(現在価値化)		⑧	1,889,521 千円	
総費用総便益比		⑨=⑧/③	3.70	
総所得償還率		⑩=④/⑥×100	- %	
増加所得償還率		⑪=④'/⑦×100	- %	

第 8 章 他の事業との関係 (該当なし)

第 9 章 計画概要図

(1)計画平面図 別紙

(2)主要構造図 別紙

添付書類

計画平面図

3/1500

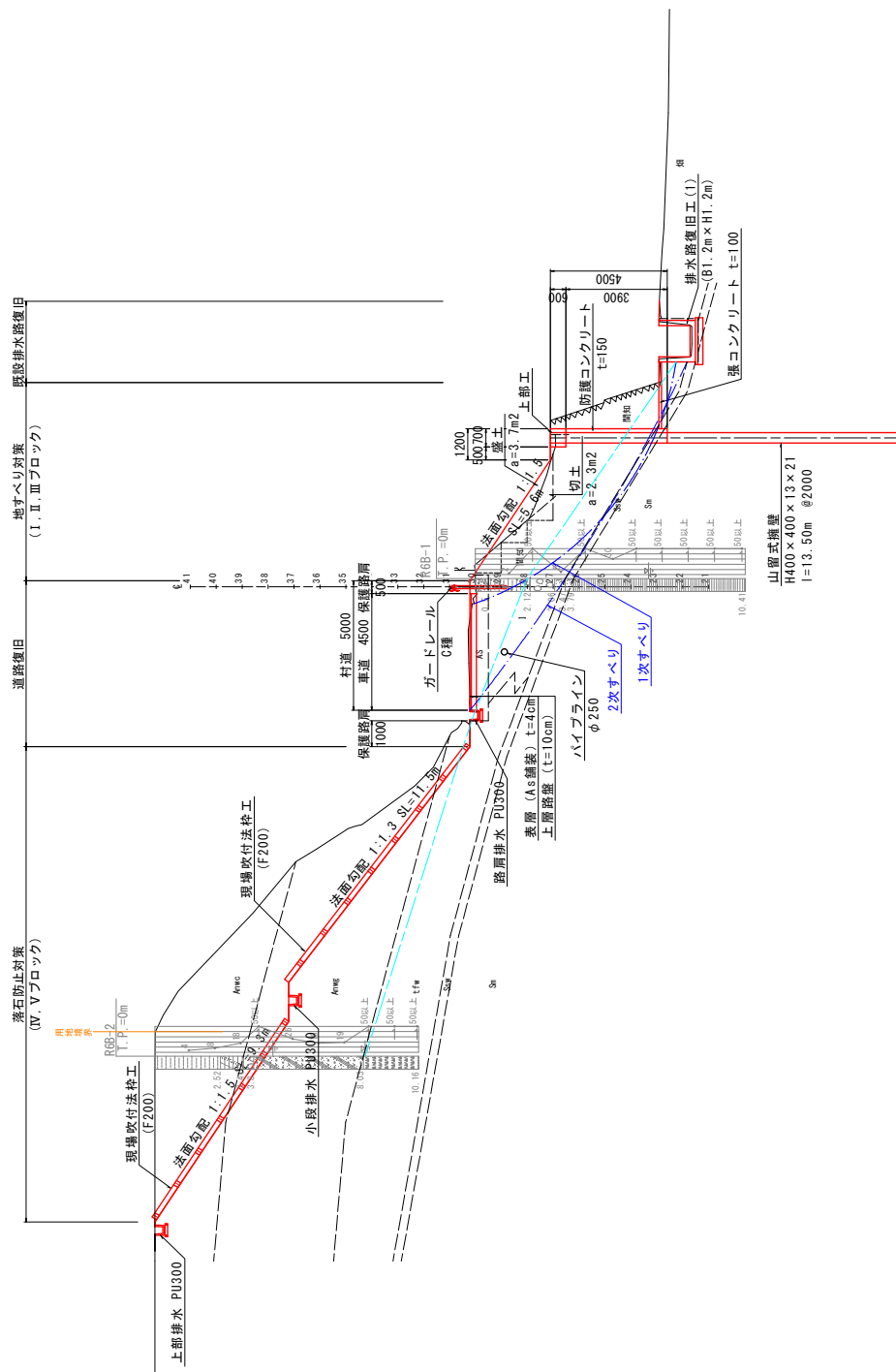


凡 例	地すべり対策範囲
	農 道
	落石防止対策範囲
	既設排水路復旧



事業計画標準断面図

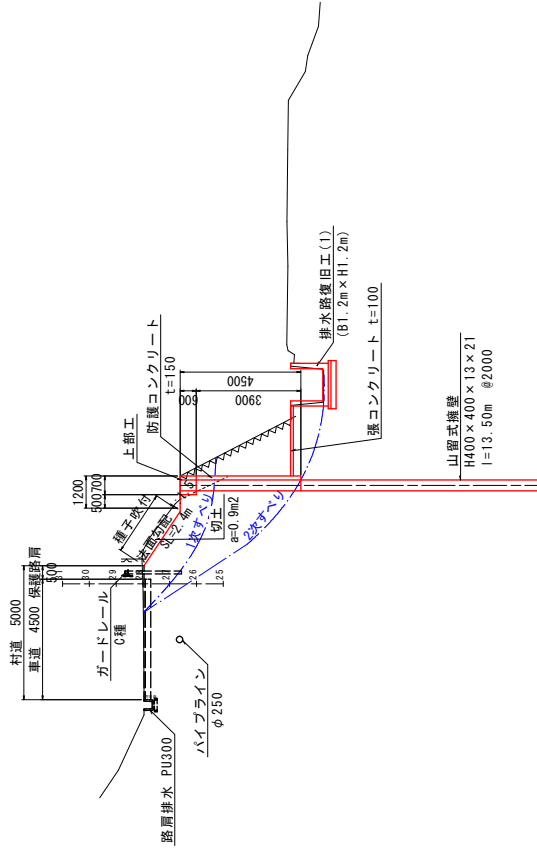
5-1/100



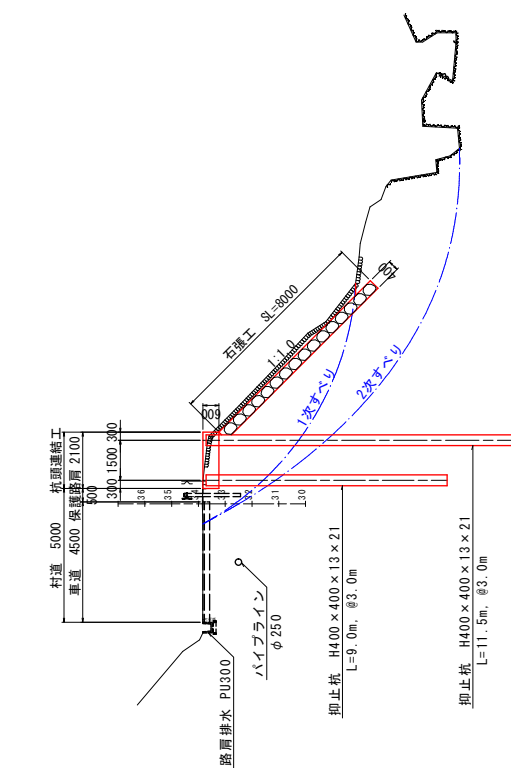
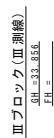
地すべり対策工標準断面図 (1)

347/100

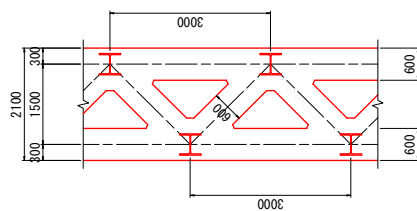
Iブロック (I 測線)
 $SH = 23.000$
 $FL =$



地すくりに対策工標準断面図(3)

$$\underline{\underline{S=1/100}}$$


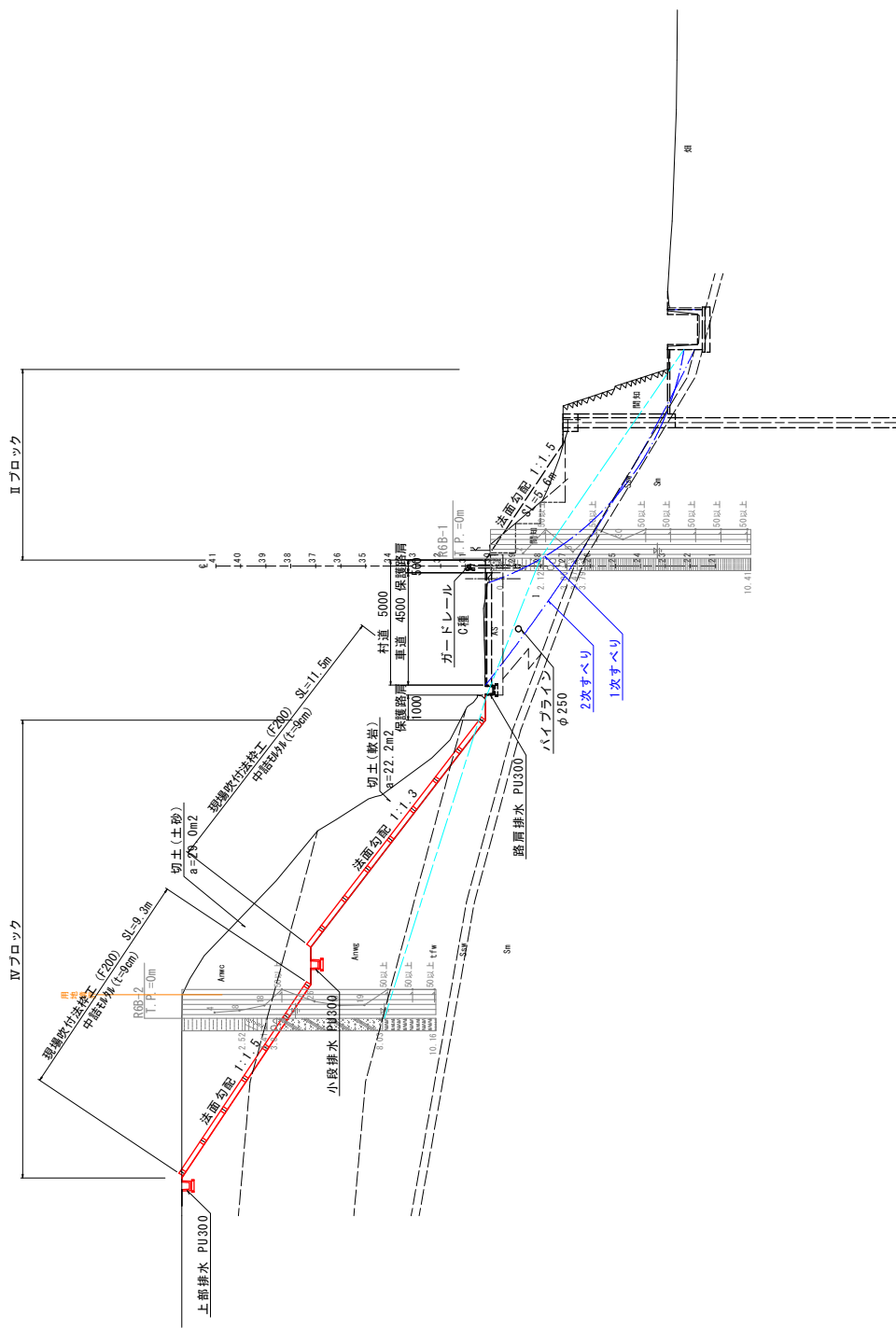
杭頭連結工平面図



落石防止対策工標準断面図 (1)

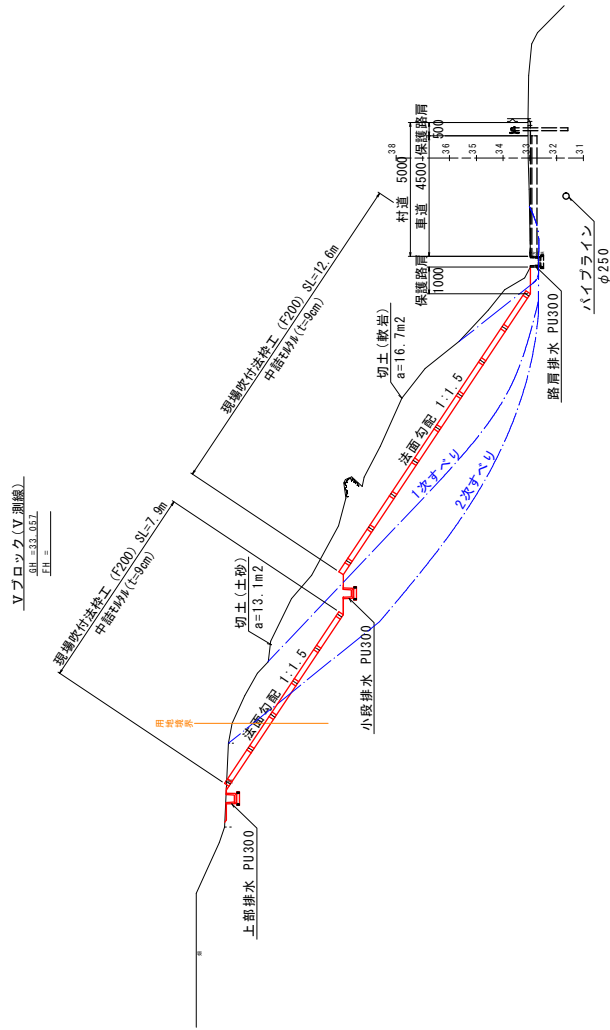
341/100

IVブロック (IV測線)
0H=30.000



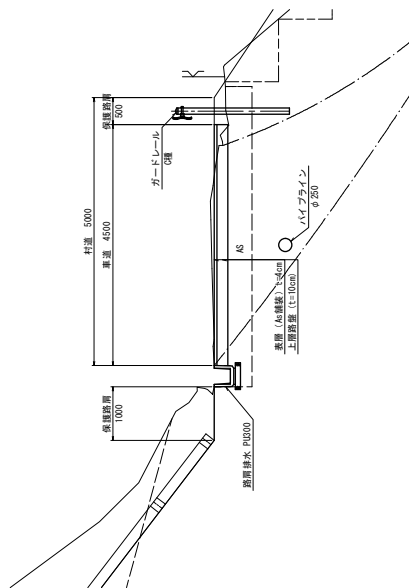
落石防止対策工標準断面図（2）

541/100

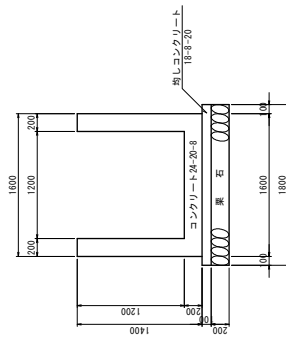


主要構造図

道路復旧

$$\underline{S=1/50}$$


排水路復旧工(1)

$$\frac{1}{S=1/30}$$


排水路復旧工(2)

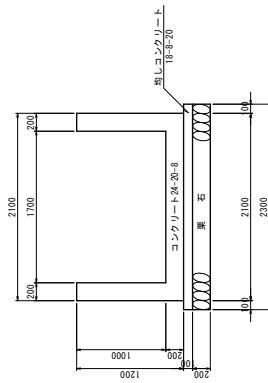
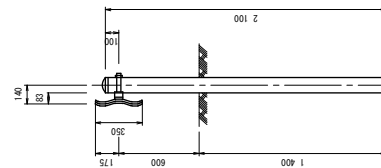
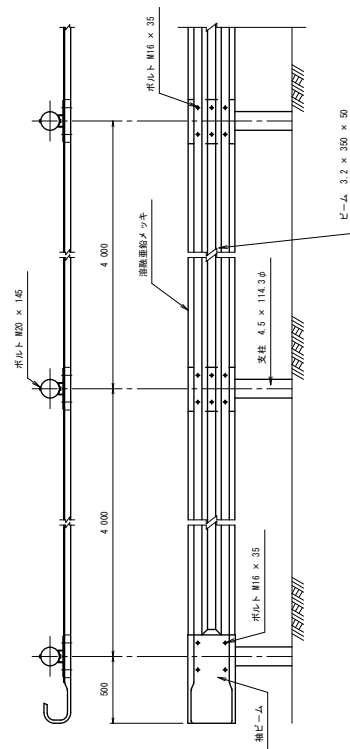
$$S=1/30$$


図 裏詰ル一ト一カ

土中用 (Gr-B-4E)

$$\frac{1}{S=1/20}$$


PU300

$$\underline{S=1/10}$$
